



ASSOCIATION INFORMATION

日本レクリエーション協会 協会案内



公益財団法人 日本レクリエーション協会

Smile Rec

人々の心を元気にする

日本レクリエーション協会は、1947年の設立以来75年以上もの間、国民の心身の健全な発達と明るく豊かな国民生活の形成に寄与することを目的として、レクリエーションの普及を推進してきました。

人と人とのコミュニケーション、地域におけるコミュニティーづくり、子どもから高齢者までの心身の健康——。レクリエーションを活用した様々な施策を通して、人々の心を元気に、そしてその先にある健全な社会づくりに貢献することを目指します。

数字で見る日本レクリエーション協会

▶日本レクリエーション協会の創立年

1947年

日本レクリエーション協会は、レクリエーション指導者の養成を事業の核として、市民と共に地域の活性を図る活動を多彩に繰り広げる公益財団として創立されました。



1951年より総裁、1990年には名誉総裁、2006年から2016年まで名誉顧問として日本レクリエーション協会を支えて下さった三笠宮崇仁親王殿下。

▶加盟関連団体数

642団体

都道府県レクリエーション協会/47団体
市区町村レクリエーション協会/536団体
種目団体/40団体 協力団体/12団体



▶全国一斉「あそびの日」参加者数

246,177人

2019年度あそびの日における全国参加者数。



▶現在の公認指導者数

45,952名

レクリエーション・インストラクター/9,784人、準中級インストラクター/24,031人、中級レクリエーション・インストラクター/1,037人、準中級レクリエーション・インストラクター/2,659人、上級レクリエーション・インストラクター/828人、スポーツ・レクリエーション指導者/1,970人、レクリエーション・コーディネーター/2,094人、福祉レクリエーション・ワーカー/3,135人、余暇開発士/414人

2021年3月31日現在

▶全国の課程認定校

215校

カリキュラム修了時に公認指導者の認定が受けられる専門学校、短大、大学の課程認定校の数。



▶全国レクリエーション大会開催回数

73回

1947年から続く全国レクリエーション大会の開催数。



日本レクリエーション協会の事業領域

レクリエーションは、常に社会の課題と向き合い、人々の心豊かな毎日に寄り添ってきました。社会が大きく変化する現代においても、心の元気づくりという大きな目的に向けて多面的な活動を行なっています。



人材養成

- レクリエーション指導者の養成
- レクリエーション・サポーター研修
- 教員のためのレクリエーション講習会
- 元気アップ・リーダー養成



指導者支援と組織支援

- レクリエーション・インストラクター・スキルアップ制度
- 加盟団体との会議
- 事業活性化のための施策支援
- 定期刊行物「レクルー」
- 専門サイト「レクぼ」



普及・啓発活動

- 全国レクリエーション大会
- 全国一斉「あそびの日」キャンペーン
- チャレンジ・ザ・ゲーム
- 「健康スポレクひろば」普及推進事業
- KOKOプロ365普及推進事業
- レクリエーショングッズの開発・販売



調査・研究・開発

- 自由時間研究
- 日本レジャー・レクリエーション学会との連携
- 運動部活動改革プラン
- これまで取り組んできた主な調査・研究事業

... ごあいさつ ...

公益財団法人日本レクリエーション協会は、75年以上もの長い歴史と活動実績を持つ公益法人です。設立当初に取り組んだフォークダンスなどの普及は、戦後間もない日本において、「民主主義」や「男女平等」といった新しい考え方を、体験を通して根づかせるという役割を担っていました。その後も、職場のコミュニケーション促進や地域づくり、学校での子どもたちの集団づくり、福祉現場での健康・生きがいづくり等、社会的な課題に向けてレクリエーションの持つ「楽しさ」を活かしてきました。

私たちは様々な活動や研修プログラムを提供し、人材と組織の育成も行っています。この30年間だけでも40万人を超える人々が公認指導者となりました。ぜひ、これらレクリエーション協会の事業をご活用ください。



公益財団法人日本レクリエーション協会 理事長 樋口 修資

人材養成

レクリエーション活動の素晴らしさを、より多くの人に実感していただき、心の元気づくりに役立てていただくために。

知識やスキルを持つ公認指導者やレクリエーション・サポーターの養成をさまざまな活動を通じて行っています。



公認指導者養成

レクリエーション・インストラクターをはじめ、レクリエーション・コーディネーターや福祉レクリエーション・ワーカーといった専門資格指導者の養成を行なっています。

基礎資格

■レクリエーション・インストラクター

ゲーム、歌、集団遊び、スポーツといったアクティビティを効果的に活用し、「集団をリードする」「コミュニケーションを促進する」「楽しい空間をつくる」といった、対象者や目的に合わせてレクリエーション活動を企画・展開できる指導者です。

レクリエーション・インストラクター資格取得者数

9,784人

準中級レクリエーション・インストラクター

24,031人

中級レクリエーション・インストラクター

1,037人

準上級レクリエーション・インストラクター

2,659人

上級レクリエーション・インストラクター

828人

■スポーツ・レクリエーション指導者

運動に親しんでいない人たちをはじめ、老若男女すべての人がスポーツを用いたレクリエーションを継続的に楽しめる場を創造できる指導者です。

スポーツ・レクリエーション指導者 資格取得者数

1,970人

■高等教育機関での公認指導者養成課程

専門学校、短大、大学等での公認指導者の養成を行うため、課程認定校の審査・認可及び専門資格についての学内審査等を行っています。

※公認指導者数、課程認定校数は2020年3月現在

専門資格

■レクリエーション・コーディネーター

「人材や資源のネットワーク力」、「事業の企画・展開力」、「事業を成功に導くグループリーダー力」など、組織や団体を活性化していく上で必要な能力を兼ね備えた指導者です。

レクリエーション・コーディネーター 資格取得者数

2,094人

■福祉レクリエーション・ワーカー

対象者に適した「活動プランづくり」、1対1の場面での「コミュニケーション」、個々に合わせた「活動のアレンジ」などを通じて、一人ひとりの生きがいづくりを支援することができる指導者です。

福祉レクリエーション・ワーカー 資格取得者数

3,135人

■レクリエーション・インストラクター... 211校

■スポーツ・レクリエーション指導者... 29校

■レクリエーション・コーディネーター... 8校

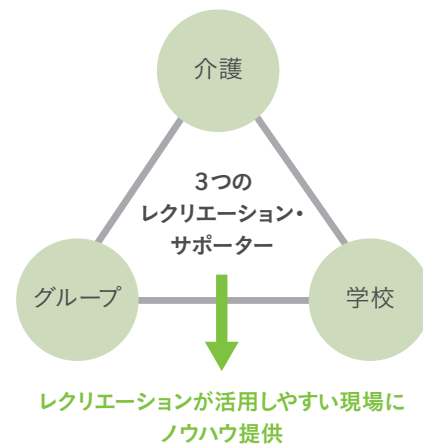
■福祉レクリエーション・ワーカー... 11校

レクリエーション普及研修

教育や介護の仕事、地域の活動などの中で、レクリエーションの有用性を感じてもらうために、知識とスキルを気軽に学べる入門的なプログラムを提供しています。

■レクリエーション・サポーター研修

人々の心を元気にする「レクリエーション支援」について、基礎的な手法を短時間で学べる研修を実施しています。レクリエーション活動を頻繁に行う「学校の教員」、「介護関係者」、「放課後児童教室や介護予防・健康づくり活動などに携わる方」を対象とし、それぞれの現場で活かせるスキルなどを持ち帰っていただけます。研修プログラムを修了した方はレクリエーション・サポーターとして登録できます。



■教員のためのレクリエーション講習会

日本レクリエーション協会では、文部科学大臣の認定を受けて2014年度から2021年度まで教員免許状更新講習の選択領域「レクリエーション講習会」を開設しています。子どもの体力低下、時代の変化による学級経営の難しさなど、様々な課題がある教育現場において、レクリエーション活動の可能性を多くの先生方に実感いただきました。



■元気アップ・リーダー養成

スポーツ庁が推進する「スポーツ実施率の向上」の取り組みに合わせ、日本レクリエーション協会では誰もが楽しく夢中になり、心も体も元気になる「元気アップ・プログラム」を全国で推進しています。同プログラムでは「チャレンジ・ザ・ゲーム」「スポーツテンカ」「リーダーゲッター」等が行われていますが、各種目の概要、ルールを身につけるための講習プログラムを実施し、受講者には元気アップ・リーダーとして登録できる仕組みをつくり、レクリエーション普及に務めています。



スポーツテンカはお笑いコンビペナルティのワッキーさんがプロデュース！全身の運動ができ、子どもから大人まで幅広く楽しめる種目です。

指導者支援と組織支援

日本レクリエーション協会は、都道府県や市区町村のレクリエーション協会、関連団体と共に手を携えながら公認指導者の活動や資質の維持・向上および、組織づくりを支援しています。



レクリエーションに関する情報発信・提供

■ 定期刊行物「レクルー」

レクリエーション支援の考え方やノウハウ、実践現場で行われている活動・種目等の情報を掲載している情報誌「Recrew(レクルー)」を定期的に発行し、公認指導者や関係機関へ提供しています。



創刊以来690号以上も発行を誇る情報誌「Recrew(レクルー)」。

公認指導者資格の価値向上

日本レクリエーション協会では、より多くの指導者が継続的にレクリエーション活動に関われる仕組みづくりを積極的に行っています。

■ レクリエーション・インストラクター・スキルアップ制度

レクリエーション支援の経験を積み重ねることで、多種多様な人々を支援するための専門性が深まっていきます。こうして深まった経験や実践力を、資格更新時に5つの階梯を設け、評価する新しい制度が2018年度からスタートしました。この制度では、経験の深まりと実践力を評価することに加え、レクリエーション支援の手法を仲間や同僚に伝える力や、後進を育成する力も評価しています。レクリエーションに携わる人の裾野を広げ、活動の質を高めていくことを狙いとしました制度でもあります。



加盟団体への活動支援

全国のレクリエーション協会、種目団体、協力団体への活動支援を行っています。

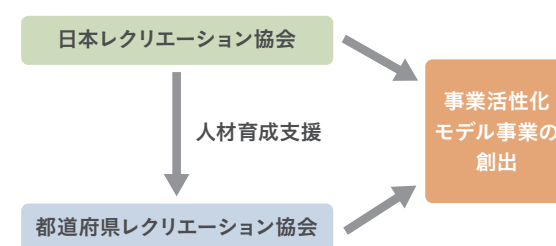
■ 加盟団体との会議

日本レクリエーション協会に加盟する都道府県レクリエーション協会、種目団体、協力団体との会議、全国エリア別のブロック会議などを行い、レクリエーション運動の方向性や課題について、議論や情報交換を行っています。また、加盟団体の活動を支援するための連携の方向性について、議論を交わしながらすすめています。



■ 事業活性化のための施策支援

都道府県レクリエーション協会の人材養成事業の強化支援を行っています。特に組織マネジメント人材の養成に注力し、その人材を中心としたレクリエーションの普及啓発拡大のためのモデル事業の創出につなげていきます。



■ ホームページ

日本レクリエーション協会公式ホームページでは、全国規模の事業に関する情報や、指導者資格の更新手続方法の案内などを紹介しています。



■ メールマガジン、FaceBook、Twitterからの情報発信

公認指導者向けメールマガジン「レクマガ」を、月2回発行。レクリエーション活動に参考になる情報やお知らせなどを配信しています。また、日本レクリエーション公式FaceBook、Twitterでは、全国の公認指導者の皆さんや、レクリエーション協会の活動状況など、旬な情報をアップしています。

■ ケンスポコム

国民の健康づくりを応援する目的で、スポーツ・レクリエーション活動を推進する団体が協力して配信する健康スポーツ情報サービスです。全国のスポーツ・レクリエーションに関するイベントや教室といった健康スポーツへの参加の機会を提供します。その他、健康スポーツに関するコラムや動画といった健康スポーツ活動の参考となる情報もお届けします。



普及・啓発活動

誰もが参加できるレクリエーション活動のイベントや教室、人々の心を元気にする「レクリエーション支援」の有効性を伝える研修を通じて、レクリエーションの理解者を広げる活動を行っています。



レクリエーションイベントの開催

レクリエーションをよりよく発展させ、多くの人に親しんでいただくために全国のレクリエーション協会の協力を得て、様々なイベントを開催しています。

■ 全国レクリエーション大会

1947年の第1回開催以来、70回以上もの歴史を誇り、開催3日間で全国から10,000人以上の参加者が集う大規模な大会です。日頃のレクリエーション運動の研究・結果報告をはじめ、実践的なセミナー、地域の特色を生かしたおもてなし、体験イベント、加盟種目団体を中心としたニュースポーツなどの交流大会も開催されています。



■ 全国一斉「あそびの日」キャンペーン

「あそびの日」とは、スポーツ・レクリエーション、野外活動、文化活動などのさまざまな活動を通じて、人と人とのつながりや笑顔を広める取り組みです。毎年9月から11月を中心とした約2ヶ月間をキャンペーン期間とし、2004年度から全国一斉キャンペーンとして実施しています。「あそびの日」を通じて「遊び」を提供する対象も、子どもから大人までのすべての人に広げ、家族の絆や地域とのつながりを深める大切な機会として現在に至っています。



■ チャレンジ・ザ・ゲーム

チャレンジ・ザ・ゲームは、1989年に日本レクリエーション協会が考案し、以降、全国各地で幅広い年齢層に親しまれているスポーツ・レクリエーションです。技術や体力、勝敗を競うのではなく、グループでの交流を楽しみながら記録に挑戦します。チャレンジ・ザ・ゲームは、体力差に関係なく、幅広い年齢層で取り組むことができるため、さまざまな場面で活用されています。

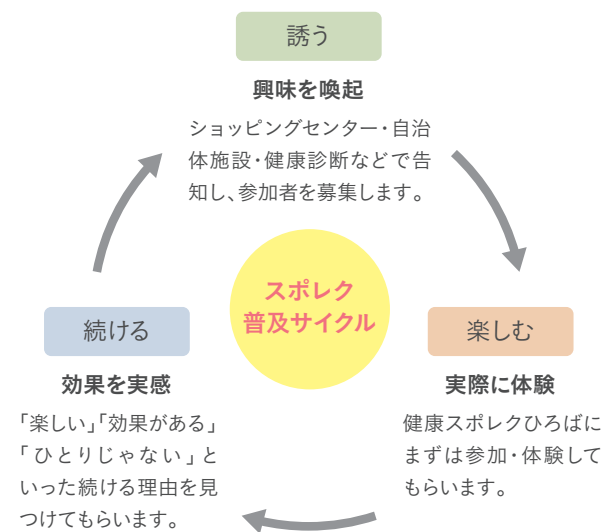


レクリエーションの普及推進

レクリエーションの素晴らしさを知っていただき、多くの方に生活の一部として取り入れていただけるよう草の根的な普及活動を行っています。

■ 「健康スポレクひろば」普及推進事業

運動不足や体力の低下が気になる高齢者の方々を対象に、気軽にスポーツ・レクリエーション活動や地域の交流を楽しめる場として全国で展開しています。全12回の開催で、体の健康はもちろん、心の元気づくりにも役立てられています。



■ KOKOプロ365普及推進事業

「心の元気づくり」365プロジェクト (KOKOプロ365) では、学校や施設、地域活動などのレクリエーション活動の現場、あるいはレクリエーションを基礎から学んでみたいと考えている現場へ、レクリエーションに精通した講師陣を派遣し、体験教室や研修などを行っています。

▶ レクリエーション体験教室



音楽レクリエーション



元気づけ教室

▶ レクリエーション研修



レクリエーション・サポーター研修

■ レクリエーショングッズの開発・販売

レクリエーション活動をスムーズに楽しくするためのグッズを多数取り扱っています。現場からの「あったらいいな」という声を拾い上げて、オリジナルグッズも開発。「マンカラ」、「ラダーゲッター」、「キャッチング・ザ・スティック」、「スポーツテンカ」など、レクリエーションの定番グッズも数多く生まれています。



調査・研究・開発

時代に寄り添い、様々な領域で用いられる
レクリエーションについて、その可能性を多様な角度から
評価するための調査研究を行っています。



■ 自由時間研究

日本レクリエーション協会が、教育機関の識者に協力を要請し、発行する研究紀要です。レクリエーションに関する研究内容や実践報告が論文形式で発表されており、少子高齢化が進展する日本社会においてレクリエーションが果たす役割、もたらされる効果などが統計や科学的分析などとともに入録されています。



■ 日本レジャー・

レクリエーション学会との連携

1971年の第1回学会開催（以降89年まで全国レク大会と並催）以降、日本における、レジャー・レクリエーション分野の学術研究を目的として、毎年学会を開催しています。2018年より、全国レクリエーション大会にてコラボフォーラムを開催しています。



■ 運動部活動改革プラン

生涯にわたって運動習慣が身につく機会となるよう、楽しみや体力づくりのための運動部活動「スポーツ・レクリエーション部」をモデル的に実施。競技スポーツとは異なる運動部活動の在り方について新たな提案を行っています。2019年度より東京都、大阪府の公立中学校にて試験的に導入されています。



これまで取り組んできた主な調査・研究事業

- 2004(平成16)年 文部科学省委託事業「子どもの居場所づくり推進事業」
- 2004(平成16)年 文部科学省委託事業「子どもの体力向上推進事業」
- 2006(平成18)年 文部科学省委託事業「元気アップおやこセミナー」
- 2009(平成21)年 文部科学省委託事業「おやこ元気アップ!事業」
- 2012(平成24)年 厚生労働省委託事業「健康者と障害者のスポーツ・レクリエーション活動連携推進事業」
- 2012(平成24)年 スポーツ庁委託事業「ライフステージに応じたスポーツ活動のための調査研究」
- 2013(平成25)年 スポーツ庁委託事業「地域を活用した学校丸ごと子どもの体力向上推進事業」
- 2013(平成25)年 スポーツ庁委託事業「若者のスポーツ参加機会拡充を通じた地域コミュニティ活性化促進事業」
- 2013(平成25)年 スポーツ庁委託事業「高齢者の体力づくり支援事業」
- 2019(令和1)年 スポーツ庁委託事業「運動部活動改革プラン」



公益財団法人 日本レクリエーション協会